

重点目標2の施策体系

(基本目標1 愛着と誇りを持ち、市民が活躍するまち)

重点目標2

目標像／【成果指標】

施策の方向

展開施策／評価指標

市民が生きがいを持ちながら、地域社会の担い手として活躍するまちにします

○市民が主体的に学習し、学んだ成果を地域社会に還元するなど、地域社会の担い手が育ち、自主的な地域づくりが進められています。

- 【学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数】
748人(平成17年度)→2,000人
- 【地域人材の小中学校における活用人数】
47.4人/校(平成20年度)→52.2人/校

生涯学習社会を構築する人づくり

生涯学習社会を構築する地域づくり

生涯学習の場の充実

- ・ 体育施設等利用者数
- ・ 施設利用者数(公民館)
- ・ 図書資料貸出者数
- ・ 特別展参加者数(科学館)
- ・ 博物館の利用者数
- ・ 彫刻美術館の利用者数
- ・ 井上靖記念館の利用者数
- ・ 都市公園における運動施設の利用者数
- ・ 文化芸術活動が盛んなまちであると思う市民の割合

生涯学習の機会の充実

- ・ ボランティア可能な講師登録者数
- ・ 生涯学習ポータルサイトまなびネットあさひかわのアクセス数
- ・ 文化芸術活動が盛んなまちであると思う市民の割合
- ・ スポーツ実施率
- ・ 講座等に支援的にかかわった市民の数
- ・ 講座から地域で活動を開始した市民の数
- ・ 一人当たり図書資料貸出点数
- ・ 科学館の事業活動参加者数
- ・ 一公演当たりの入場率(市民文化会館)
- ・ コンサートボランティアの登録者数
- ・ 彫刻サポート隊の人数

学習成果を地域社会へ還元するシステムの構築

- ・ ボランティア可能な講師登録者数
- ・ 地域・学校交流活動人数
- ・ 講座から地域で活動を開始した市民の数

展開施策 2-1-1 生涯学習の場の充実

概要	
生涯学習を行う場の充実を図るため、科学館や公民館などの学習に係る環境を提供する。	

位置付け	
基本目標1	愛着と誇りを持ち、市民が活躍するまち
重点目標2	市民が生きがいを持ちながら、地域社会の担い手として活躍するまちにします
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数 748人 (平成17年度) → 2,000人 ・地域人材の小中学校における活用人数 47.4人/校(平成20年度)→ 52.2人/校
施策の方向	生涯学習社会を構築する人づくり

評価指標		基準値	現状値	目標値(27年度)
評価指標1 (担当:市民生活部)	体育施設等利用者数	875,489人 (平成16年度)	900,194人 (平成25年度)	950,000人
評価指標2 (担当:社会教育部)	施設利用者数(公民館)	637,045人 (平成16年度)	693,444人 (平成25年度)	750,000人
評価指標3 (担当:社会教育部)	図書資料貸出者数	495,864人 (平成16年度)	491,521人 (平成25年度)	550,000人
評価指標4 (担当:社会教育部)	特別展参加者数(科学館)	86,634人 (平成17年度)	24,997人 (平成25年度)	50,000人
評価指標5 (担当:社会教育部)	博物館の利用者数	30,493人 (平成16年度)	23,954人 (平成25年度)	36,000人
評価指標6 (担当:社会教育部)	彫刻美術館の利用者数	13,040人 (平成16年度)	8,011人 (平成23年度)	10,000人
評価指標7 (担当:社会教育部)	井上靖記念館の利用者数	10,077人 (平成16年度)	5,088人 (平成25年度)	9,800人
評価指標8 (担当:土木部)	都市公園における運動施設の利用者数	1,088,497人 (平成16年度)	1,022,695人 (平成25年度)	1,160,000人
評価指標9 (担当:社会教育部)	文化芸術活動が盛んなまちであると思う市民の割合	28.2% (平成19年度)	28.1% (平成23年度)	40.0%

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	学校施設スポーツ開放事業 (市民生活部)	1	市民がスポーツに親しむ場を充実するため、学校スポーツ施設を開放する。			→

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	伊ノ沢市民スキー場通年活用促進事業(再掲) (市民生活部)	1	伊ノ沢市民スキー場の年間を通じた利用を促進するため、豊かな自然を利用し、子どもたちの外遊びの体験やスポーツを通じた交流を図る事業を行う。			→
	カムイスキーリンクス索道等整備事業 (市民生活部)	1	カムイスキーリンクスの安全で快適な利用環境の整備のため、スキー場内の老朽化した施設・索道等の修繕、更新等を行う。			→
	カムイスキーリンクス施設整備基金積立金 (市民生活部)	1	カムイスキーリンクスのリフト等の整備財源とするため、基金の積立てを行う。			→
	富沢クロスカントリーコース圧雪車購入事業 (市民生活部)	1	富沢クロスカントリーコースの整備を行うため、備荒資金を活用し圧雪車を購入する。			→
重点	地域を支えるシニア世代人材育成事業(再掲) (社会教育部)	2	高齢者の学びや活動の拠点となるシニア大学の運営を行うとともに、学びの成果を積極的に地域社会に生かすため、地域づくりやまちづくりを担う人材を高齢者学習の場から育成する。平成27年度は、「まちなか講座」の内容充実を図る。	●		→
	図書資料整備事業 (社会教育部)	3	市民の読書に対する要求に応えるため、図書館の資料等を整備する。			→
	中央図書館等施設利用者駐車場確保事業 (社会教育部)	3	中央図書館等施設利用者の利便性を確保するため、無料駐車場を確保する。			→
	科学館特別展開催事業 (社会教育部)	4	科学の理解、普及、学習及び研究の促進等のため、科学館において自然科学をテーマとした特別企画展を開催する。			→
	博物館企画展示事業 (社会教育部)	5	市民が旭川の歴史やアイヌ文化等について学ぶ場を提供するため、常設展示を補完する企画展示を開催する。			→
	博物館管理事業 (社会教育部)	5	市民が旭川の歴史やアイヌ文化等について学ぶ場を提供するため、各種体験講座等を開催する。			→

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	アイヌ文化等郷土学習振興事業 (社会教育部)	5	アイヌ文化等郷土の歴史や文化について関心や理解を深めるため、市民対象のイベントや学校対象の学習事業を実施する。			→
	中原悌二郎賞関係事業 (社会教育部)	6	市民が優れた彫刻に触れる場の充実を図るため、旭川ゆかりの彫刻家・中原悌二郎の偉業を顕彰し、市民に優れた彫刻作品を鑑賞する機会を提供する。			→
	事業活動事業（彫刻美術館） (社会教育部)	6	市民が優れた彫刻に触れる場の充実を図るため、各種展示活動や彫刻教室などの教育普及活動を行う。			→
	旧旭川借行社大規模改修事業 (社会教育部)	6	老朽化により損傷が著しい旧旭川借行社(重要文化財)を保存し後世へ継承するとともに、引き続き彫刻美術館として安全な利用に供するため、半解体の上、耐震補強のほか必要な修理を実施し、復元する。			→○
	井上靖記念館管理事業 (社会教育部)	7	本市にゆかりのある井上靖の文学に触れる場の充実を図るため、井上靖に係る各種企画展示及び自主事業活動を通して、市民に広く生涯学習の場を提供する。			→
	花咲スポーツ公園改修事業 (土木部)	8	スポーツ活動の場の充実を図るため、花咲スポーツ公園の改修を行う。			→
	都市計画公園整備事業（再掲） (土木部)	8	市民生活に緑のうるおいを提供するため、多様な市民ニーズに対応した特徴ある公園・緑地の整備を行うとともに、パークゴルフ場等の維持管理を協働で行うための仕組みづくりを進める。			→
	運動公園整備事業（再掲） (土木部)	8	みどり豊かで魅力ある都市空間形成のため、東光スポーツ公園の整備を行う。平成27年度は複合体育施設の基本設計や球技場夜間照明の実施設計等を行う。	●		→
	公の施設（文化施設等）建設基金積立金 (社会教育部)	9	市民が様々な芸術等に触れる場を充実するため、文化施設等を整備するための基金の積立てを行う。			→

展開施策 2-1-2 生涯学習の機会の充実

概要	
生涯学習に係る機会の充実を図るため、様々な活動に係る取組や情報を提供するとともに、リーダーの役割を果たす人材育成を進める。	

位置付け	
基本目標 1	愛着と誇りを持ち、市民が活躍するまち
重点目標 2	市民が生きがいを持ちながら、地域社会の担い手として活躍するまちにします
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数 748人 (平成17年度)→ 2,000人 ・地域人材の小中学校における活用人数 47.4人/校 (平成20年度)→ 52.2人/校
施策の方向	生涯学習社会を構築する人づくり

評価指標		基準値	現状値	目標値(27年度)
評価指標 1 (担当:社会教育部)	ボランティア可能な講師登録者数	96人 (平成17年度)	96人 (平成25年度)	150人
評価指標 2 (担当:社会教育部)	生涯学習ポータルサイトまなびネットあさひかわのアクセス数	3,389件 (平成17年度)	86,494件 (平成25年度)	7,000件
評価指標 3 (担当:社会教育部)	文化芸術活動が盛んなまちであると思う市民の割合	28.2% (平成19年度)	28.1% (平成23年度)	40.0%
評価指標 4 (担当:市民生活部)	スポーツ実施率	24.8% (平成15年度)	37.7% (平成22年度)	43.0%
評価指標 5 (担当:社会教育部)	講座等に支援的にかかわった市民の数	119人 (平成16年度)	1,218人 (平成25年度)	420人
評価指標 6 (担当:社会教育部)	講座から地域で活動を開始した市民の数	46人 (平成16年度)	14人 (平成25年度)	140人
評価指標 7 (担当:社会教育部)	一人当たり図書資料貸出点数	6.4点 (平成16年度)	6.8点 (平成25年度)	7.3点
評価指標 8 (担当:社会教育部)	科学館の事業活動参加者数	33,433人 (平成17年度)	41,592人 (平成25年度)	42,000人
評価指標 9 (担当:社会教育部)	一公演当たりの入場率 (市民文化会館)	69.5% (平成16年度)	72.1% (平成25年度)	75.0%
評価指標 10 (担当:社会教育部)	コンサートボランティアの登録者数	94人 (平成17年度)	73人 (平成25年度)	110人
評価指標 11 (担当:社会教育部)	彫刻サポート隊の人数	143人 (平成17年度)	115人 (平成25年度)	180人

展開施策 2-1-2 生涯学習の機会の充実

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	生涯学習振興事業 (社会教育部)	1, 2	生涯学習に関する啓発を行うため、生涯学習フェアの開催や生涯学習ポータルサイトまなびネットあさひかわによる情報提供などを行う。			→
	文化振興事業 (社会教育部)	3	文化芸術の振興と文化財の保全を図るため、旭川市文化賞の贈呈や文化団体への補助などを行う。			→
	文化芸術活動振興事業 (社会教育部)	3	文化芸術活動の振興及び活性化を図るため、発表・展示・練習の場を提供するとともに、文化芸術団体開催事業への助成により、市民の文化芸術活動を支援する。また次期文化芸術振興基本計画の策定検討を行う。			→
	文化芸術振興基金積立金 (社会教育部)	3	文化芸術の振興に資する事業の財源とするため、基金の積立てを行う。			→
	文化財保存事業（再掲） (社会教育部)	3	郷土の歴史等への理解を深め、後世への遺産として保存するため、指定文化財等の維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の調査や文化財保持団体への支援を行う。			→
	アイヌ文化振興事業（再掲） (社会教育部)	3	アイヌ文化の理解の促進と保存・伝承を図るため、アイヌ民族音楽会の開催、アイヌ語地名表示板の設置、「アイヌ文化ふれあいまつり」の開催などを行う。			→
	サケ生態学習事業 (社会教育部)	3	郷土の自然を理解し、郷土を愛する心を育てるため、見学ツアーなどを実施する。	→○		
	体育振興事業 (市民生活部)	4	市民のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ推進委員の活動推進やスポーツ賞の贈呈などの各種事業を行う。			→

展開施策 2-1-2 生涯学習の機会の充実

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	スポーツ振興基金積立金 (市民生活部)	4	スポーツの振興を図るため、基金の積立てを行う。			→
	バーサーロペット・ジャ パン開催負担金 (市民生活部)	4	クロスカントリースキー、歩くスキーの振興を図るため、バーサーロペット・ジャパンを開催する。			→
重点	スポーツ大会開催負担 金・補助金 (市民生活部)	4	市民が多様なスポーツに接する機会を確保するとともに、興味や関心を喚起し自主的なス ポーツ活動を行うきっかけとするため、本市で開催される大規模な各種スポーツ大会に助成 し、円滑な大会運営を支援する。	●		→
	伊ノ沢市民スキー場通年 活用促進事業 (市民生活部)	4	伊ノ沢市民スキー場の年間を通じた利用を促進するため、豊かな自然を利用し、子どもたち の外遊びの体験やスポーツを通じた交流を図る事業を行う。			→
重点	スポーツ大会等誘致推進 事業 (市民生活部)	4	市民のスポーツ競技人口の増加及び競技力の向上を図るため、スポーツ大会や合宿の誘致活 動、本市のスポーツ観光のPR活動を行う。平成27年度は富沢クロスカントリーコース施設 整備の検討を行うため、調査を実施する。	●		→
	カムイスキーリンクス索 道等整備事業(再掲) (市民生活部)	4	カムイスキーリンクスの安全で快適な利用環境の整備のため、スキー場内の老朽化した施 設・索道等の修繕、更新等を行う。			→
	カムイスキーリンクス施 設整備基金積立金(再 掲) (市民生活部)	4	カムイスキーリンクスのリフト等の整備財源とするため、基金の積立てを行う。			→
	事業活動事業(公民館) (社会教育部)	5,6	ライフステージに応じた多様な学習機会を確保するため、公民館における高齢者学習・成人 学習・世代間交流事業等の各種講座を開催する。			→

展開施策 2-1-2 生涯学習の機会の充実

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
重点	地域を支えるシニア世代 人材育成事業 (社会教育部)	5, 6	高齢者の学びや活動の拠点となるシニア大学の運営を行うとともに、学びの成果を積極的に地域社会に生かすため、地域づくりやまちづくりを担う人材を高齢者学習の場から育成する。平成27年度は、「まちなか講座」の内容充実を図る。	●		→
	生涯学習活動事業（公民館） (社会教育部)	5, 6	社会的ニーズに対応した学習機会を確保するため、少子高齢化に対応する「家庭教育・子育て支援事業」や「体験型青少年教育」、地域の活性化に向けた「まちづくり推進事業」などを実施する。			→
	事業活動事業（図書館） (社会教育部)	7	図書館利用を活性化し、市民に多様なサービスを提供するため、図書館まつりや障害者サービス等の各種事業を行う。			→
	読書環境整備促進事業 (社会教育部)	7	子どもの読書環境の整備を促進するため、各図書館やキッズルームにおいて子ども向け行事や講演会、読み聞かせボランティア講座などを開催する。			→
	子ども読書環境充実事業 (社会教育部)	7	子どもの読書環境の充実を図るため、夏・冬休み期間中の中央図書館の月曜日開館を実施する。			→
	事業活動事業（科学館） (社会教育部)	8	市民の科学への関心を高めるため、講座、実験実習、体験参加、講演会などを実施する。			→
	自主文化事業（市民文化会館） (社会教育部)	9	市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実を図るため、公演事業やワークショップを実施する。			→
	音楽堂自主文化事業 (社会教育部)	10	市民が優れた音楽芸術に触れる機会の充実を図るため、公演事業や音楽講座などを実施する。			→

展開施策 2-1-2 生涯学習の機会の充実

区分	事業名/担当部局	関連する 評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	旭川ウィーン国際弦楽セミナー開催支援事業 (社会教育部)	10	音楽を愛好する市民を拡大し、音楽家、音楽指導者を育成するため、セミナーと交流コンサートの開催を支援する。			→
	旭川彫刻フェスタ開催負担金 (社会教育部)	11	彫刻への親しみや関心を高めるため、野外彫刻の公開制作・彫刻シンポジウム・彫刻教室等の事業費の一部を負担する。			→
	野外彫刻管理事業 (社会教育部)	11	野外に設置してある彫刻を良好な状態で維持管理するため、市民ボランティアによる清掃活動や作品の修復等を行うとともに、野外彫刻作品鑑賞等の啓発活動を行う。			→

展開施策 2-2-1 学習成果を地域社会へ還元するシステムの構築

概要	
学習活動などで得た成果を地域社会へ還元するシステムを構築するため、地域社会への還元を意識した学習活動と交流活動などの取組を進める。	

位置付け	
基本目標 1	愛着と誇りを持ち、市民が活躍するまち
重点目標 2	市民が生きがいを持ちながら、地域社会の担い手として活躍するまちにします
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動及び社会活動における生涯学習ボランティア数 748人 (平成17年度) → 2,000人 ・地域人材の小中学校における活用人数 47.4人/校(平成20年度) → 52.2人/校
施策の方向	生涯学習社会を構築する地域づくり

評価指標		基準値	現状値	目標値(27年度)
評価指標 1 (担当:社会教育部)	ボランティア可能な講師登録者数	96人 (平成17年度)	96人 (平成25年度)	150人
評価指標 2 (担当:社会教育部)	地域・学校交流活動人数	1,028人 (平成16年度)	2,435人 (平成25年度)	3,000人
評価指標 3 (担当:社会教育部)	講座から地域で活動を開始した市民の数	46人 (平成16年度)	14人 (平成25年度)	140人

区分	事業名/担当部局	関連する評価指標	事業内容	年度計画		
				27	28	29
	生涯学習振興事業(再掲) (社会教育部)	1, 2	生涯学習に関する啓発を行うため、生涯学習フェアの開催や生涯学習ポータルサイトまなびネットあさひかわによる情報提供などを行う。			→
	事業活動事業(公民館) (再掲) (社会教育部)	3	ライフステージに応じた多様な学習機会を確保するため、公民館における高齢者学習・成人学習・世代間交流事業等の各種講座を開催する。			→
重点	地域を支えるシニア世代人材育成事業(再掲) (社会教育部)	3	高齢者の学びや活動の拠点となるシニア大学の運営を行うとともに、学びの成果を積極的に地域社会に生かすため、地域づくりやまちづくりを担う人材を高齢者学習の場から育成する。平成27年度は、「まちなか講座」の内容充実を図る。	●		→